



# エム デイ テイ Micro Destructive Test 工法



(一社) Triple EYE 協会

## 【MDT工法の作業手順】

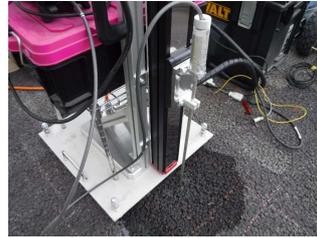
① 一定の押しつけ力で  
10mm程度の穴を削孔



② モニター上に削孔深さと  
降下速度の関係を表示



③ 必要に応じて削孔内部  
を観察(側視・直視)

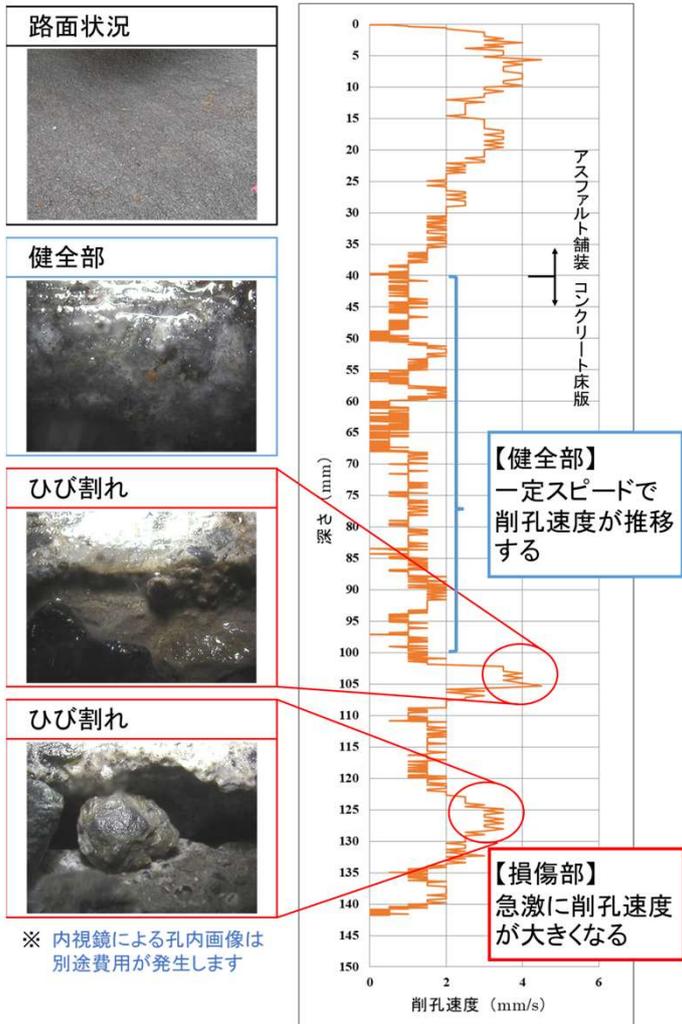


④ 削孔個所の埋め戻し

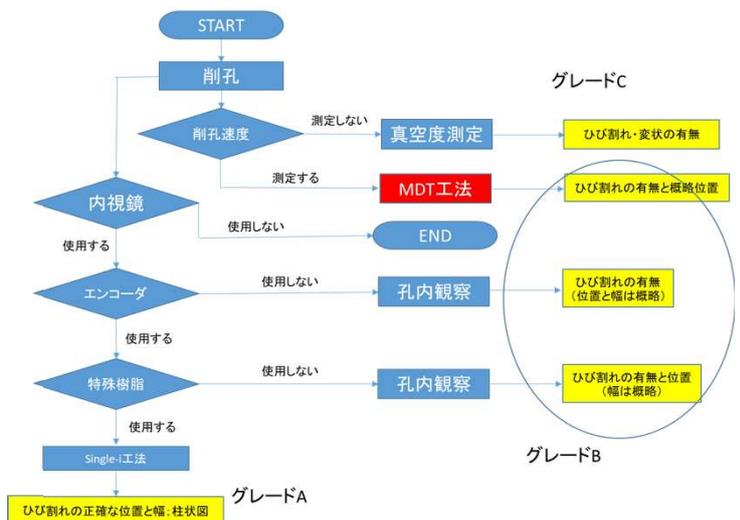


## 【MDT工法による調査結果の一例】

削孔回数：1回  
調査時間：15分/箇所



## 【各種微破壊調査法とMDT工法の位置付け】



- 調査の目的や構造物の重要度,さらには調査時間等の制約条件に応じた最適な調査方法を選択すべき
- ひび割れや欠陥の位置や状態など,正確な情報が必要な場合には,グレードAに位置づけられる「Single i 工法」を選択
- ひび割れの有無や概略位置が求められる場合には,「MDT工法」を選択
- 必要に応じて内視鏡やエンコーダを使用し,調査精度の向上を図る

一般社団法人 Triple EYE (トリプルアイ) 協会

E-mail info@triple-eye.or.jp  
H P http://triple-eye.or.jp

協会員